

The Mille Has Times

2024
AUTUMN
VOL.10

華麗な踊りにときめく

バレエの
妖精とプリンセス

Interview

「松竹大歌舞伎」出演 中村錦之助さん／中村隼人さん

お堀の遊歩道 散策ルポ

11月、ミルハス初の松竹大歌舞伎開催!

中村錦之助さん、隼人さんが親子共演

令和六年度 (公社)全国公立文化施設協会主催

製作 松竹

松竹大歌舞伎



記者会見で公演をPRした中村錦之助さん(右)と中村隼人さん

Interview

インタビュー



あきた芸術劇場ミルハス初の「松竹大歌舞伎」公演が11月11日、大ホールで開催される。10月31日から全国20会場で行われる巡業の一環。座組の中心となる中村錦之助さんと中村隼人さんは、巡業公演では10年ぶりとなる親子共演を果たす。8月に都内で記者会見し、意気込みを語った。

—10年ぶりに親子で全国を回ることについて、どんな思いですか。

錦之助 いつか親子で『引窓』ができたかと思っていましたが、こんなにも早く夢がかなうとは。やはり隼人には負けられないので、いち役者同士戦っていきたくと思っています。

隼人 移動の多い巡業は、周りの人たちの体調管理にも気を使いながら勤めていきたいです。やはり楽しみなのは、親子でがつりお芝居をすることです。

—公演冒頭の「ご挨拶」を隼人さんが担います。

隼人 役者が素顔でお客様の前に出てお話を、

興味を持っていたき、すぐに舞台を上演する。なかなか巡業ではやらない『ご挨拶』ですが、お客さまにより親近感を持っていただきたく、無理を言わせてもらえることになりました。

—錦之助さんから見て、隼人さんの役者としての成長ぶりをどう感じますか

錦之助 親から見てもここ4、5年の成長は著しいなと思います。自分で考える力、芝居をプロデュースする力を身に付けてほしいので、今回の巡業公演も本当にいい機会です。隼人から刺激を受けて、私もまた初心に戻って勉強する気になっています。



錦之助「親子で役者同士戦う」

親子共演について「負けられない」と語る錦之助さん



隼人「『ご挨拶』で親近感を」

全国20会場での巡業を前に「体調管理にも気を使いたい」と話す隼人さん

巧みな心情描写に浸る

ココに注目!

今回の演目は「双蝶々曲輪日記 引窓」と「身替座禅」の二つ。物語の内容や芝居の見せ所について、錦之助さんと隼人さんが語った。

「引窓」は、親子の情愛や義理人情が際立つ作品だ。濡髪長五郎を演じる錦之助さんは「(人をあやめた濡髪は) 母親に説得され、前髪を落とし、母親の前では自首するとうそをつく。言葉や動作ではなく、目線やおなかで濡髪の心の葛藤を表現しなくてはいけない。どこまでそれを出せるかが私の勝負だと思っています」と話す。

隼人さんは南与兵衛(後の南方十次兵衛)を演じる。「与兵衛は町人だった武士。せりふ回しや体の使い方の変化を大事に勤めたいです。歌舞伎ならではの義理人情の部分を意識し、精いっぱい腹の底から芝居がしたいです」と力を込める。

「身替座禅」は狂言の大曲「花子」を基にした舞踊劇で、夫婦のやりとりがユーモアたっぷりに描かれる。奥方玉の井を演じる錦之助さんは「やきもち焼きで、



「引窓」の一場面。濡髪長五郎に扮する錦之助さん(右)と南与兵衛に扮する隼人さん ©松竹

旦那に対して厳しい奥方。でも単に怒ってばかりではない、そのかわいさを出せればと思っています」。旦那の山蔭右京の役を担う隼人さんは「とてもちゃめっ気があると同時に、色気のある役。京の上流階級の人物なので、品を大切に勤めていければと思います」と語った。

登場人物の背景や性格をくみ取った巧みな心情描写が見どころ。歌舞伎の魅力にどっぷりと浸るぜいたくな時間を楽しめそうだ。

〈演目・あらすじ〉

双蝶々曲輪日記 引窓

石清水八幡宮にほど近い八幡の里にある南与兵衛の家。亡き父の後妻となった義母お幸と女房お早が放生会の準備をしている所へ、相撲取りの濡髪長五郎が人目を忍んで訪ねてくる。幼い頃に養子に出されたお幸の実子である長五郎は、主筋への義理で人をあやめてしまい、母に一目会おうとやって来た。そこへ、代官に任命され、父の名である南方十次兵衛を名乗ることが許された与兵衛が帰ってくる。お幸とお早は与兵衛の出世を喜ぶが、与兵衛に命じられた初仕事は人相書の男を捕縛することで…。

身替座禅

大名の山蔭右京は人の恐妻家でありながら浮気性。愛人の花子が都へやって来たことを知り、なんとか会いたいと願うが、奥方玉の井が外出を許さない。そこで右京は、邸内の持仏堂に一晚中もって座禅をするとうそをつき、家来の太郎冠者に座禅衾(ざぜんぶすま)をかぶせて自身の身替わりにし、花子のもとへ向かう。しかし、このことが玉の井に知られてしまい…。

公演概要

- ◆日 時: 11月11日(月) 12:15開場 / 13:00開演
- ◆会 場: あきた芸術劇場ミルハス 大ホール
- ◆チケット: 一等席 8,500円 / 二等席 7,000円 / 三等席 5,000円 / 25歳以下 2,500円

主催 / あきた芸術劇場ミルハス
公益社団法人全国公立文化施設協会

チケット購入、詳細はこちら▶



令和六年度(公社)全国公立文化施設協会主催 製作 松竹

松竹大歌舞伎

ご挨拶
双蝶々曲輪日記
身替座禅

中村錦之助
中村隼人
中村隼人

上村吉弥
市川三郎
市川青虎

公演レビュー

圧巻の表現力、 感動呼ぶ優美さ



「レ・シルフィード」の一場面。舞台は神秘的な雰囲気が漂う

1部の演目は、空気の精(シルフィード)と男性詩人が月明かりの下で舞う「レ・シルフィード」。神秘的な雰囲気が漂う舞台上で、白いロマンチックチュチュを身にまとったシルフィードたちの軽やかな身のこなしにうっとりさせられた。

2部は、ダンサーのきらびやかな衣装が目を引く「眠りの森の美女」から始まり、バレエの代名詞ともいえる人気6作品の名場面が次々と展開された。「人形の精(フェアリードール)」では、愛らしいフェアリードールと2人のピエロが登場。ピエロのコミカルな踊りや表情、フェアリードールとのほのぼのとした掛け合いが観客を楽しませた。

「ジゼル」は、暗い森の中にある池のほとりの墓場を舞



公演のラストを飾った「くるみ割り人形」のバド・ドゥ

バレエ公演「バレエの妖精とプリンセス ヨーロッパ名門バレエ団のソリストたち」(秋田魁新報社・光藍社主催、あきた芸術劇場ミルハス共催)が8月10日、ミルハス大ホールで開催された。妖精やプリンセスが登場するクラシックバレエの名作を選びすぐったガラ公演。ヨーロッパの名門バレエ団で活躍するソリストたちが集まり、優美な踊りで観客を魅了した。



オーロラ姫が4人の王子と代わる代わる踊る「眠りの森の美女」の一場面

台に展開。悲恋の末に命を落とした村娘ジゼルが精霊となって現れ、生前の恋人アルブレヒトと2人で踊る。愛情深くも憂いを帯びたジゼル、悲しみと後悔の念を抱えたアルブレヒトの繊細な感情表現に引きつけられた。ラストは「くるみ割り人形」。男性が女性を持ち上げるリフトが多く組み込まれたバド・ドゥは見応えがあり、一流のテクニックに観客から惜しみない拍手が送られた。

妖精やプリンセスが舞い踊る華やかなシーンの連続。ダンサーの技術力と表現力の高さに圧倒され、クラシックバレエの魅力を存分に堪能できた公演だった。

【 第1部 】

「レ・シルフィード」

【 第2部 】

「眠りの森の美女」より
ローズ・アダージョ

「薔薇の精」

「白鳥の湖」よりアダージョ

「人形の精」よりバド・トロワ

「ジゼル」よりバド・ドゥ

「くるみ割り人形」よりバド・ドゥ

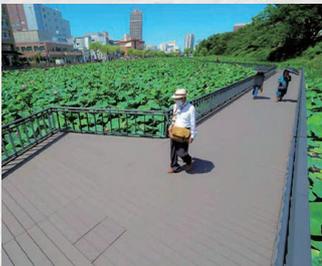
JR秋田駅前から

歩いてみました
お堀の浮体式遊歩道
ミルハスへ新たなアクセス

目楽しくて近道気分一。
あきた芸術劇場ミルハスそばの「大手門の堀」に7月、浮体式遊歩道が開通しました。JR秋田駅寄りにあるポケットパークとミルハス正面近くを「直結」する約250^m。同駅からミルハスへ向かうとき、広小路の歩道を通ると大きく距離は変わりませんが、おおむねミルハスの方を向いて歩くので気分は近道。ハスの花が咲く7、8月は、歩くだけでゴージャスな気分。実際に歩いてみました。写真で紹介します。



千秋公園の東側ポケットパークからさあ出発。中央奥にミルハスの建物の上部構造が見えます。通行できるのは日の出から午後10時まで。歩行者だけで自転車などは通れません。冬季(12~3月)は閉鎖される予定です。



幅約3^mですが、途中6カ所が部分的に広がっています。通行を妨げることなく立ち止まってハスなどを眺めることができるように一とのこと



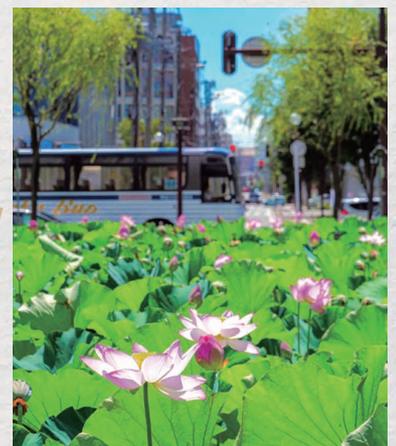
わきからのぞくとなるほど浮体式。歩道上に立ち止まっていて、ほかの人が歩いてくるとわずかに揺れるのがわかります



ハスの盛りには葉も花も遊歩道の中に入り出してくるかのようです



咲き誇るハスが演出する非日常の特別感。ところがハス越しの広小路では、車もバスも日常を走り抜けていきます



到着!



てくてく歩くとあっという間に「ミルハス前」へ。もちろん逆方向へも歩けます。ミルハスからお帰りの際もどうぞ

子どもたちのためのダンスワークショップ

日生劇場×ミルハス



手をつないで仲良くダンス

日生劇場（東京）とあきた芸術劇場ミルハスが連携した「子どもたちのためのダンスワークショップ—動物の身体・自然の身体で遊ぼう!」が7月7日、小ホールAで開かれた。講師を務めたのは、ダンサーの長谷川暢さんと田中朝子さん。県内の小学生ら約20人が参加し、体を使った表現遊びを楽しんだ。

プロダンサーが手本 元気いっぱいに躍動

子どもたちは講師を手本にしながらオオカミやヤギになりきった。体を上下、左右に振って大きく動くことを意識し、思い思いに表現していた。「風」や「雨」など自然の現象



体を大きく使って伸びやかに表現

を動きで表現することにも挑戦。「波」を表現する時には、みんなで手をつないで輪になり、腕の動きを次々と隣に伝えていった。

最後は2グループに分

かれ、1分程度のダンスの構成を考えた。どんな順番でどんな動きを取り入れるかを決めて練習し、ダンスを披露し合った。終了後、子どもたちは「楽しかった」「もっと動きたい」と充実した表情を見せていた。



オオカミとヤギになりきる子どもたち

第3回ピアノマラソン／42組出演、豊かな音色響かす



42組が出演し、豊かに響くフルコンピオの音色を楽しんだ

あきた芸術劇場ミルハスの第3回ピアノマラソンが7月7日、大ホールで開かれた。過去最多の42組46人が出演。本格的なクラシック公演に用いられるフル・コンサート・グランドピアノで、クラシックからポップスまで多彩な楽曲を奏でた。

舞台にはスタインウェイ2台とヤマハ1台のピアノが用意され、出演者は3台の中から自由に選んで演奏した。音響反射板が設置された舞台で、音は一層豊かに響き渡った。

3歳からピアノを習っているという秋田市

の後藤優斗さん（12）は演奏後「スタインウェイを選んで弾いた。柔らかく優しい響きで、音の広がりを楽しむことができた」と話した。同市の保泉莉絵さん（38）は「ピアノを弾くのが一番のリラックス時間。コンサート用の大きなピアノが弾ける貴重な体験ができて、とてもありがたい」と笑顔を見せた。

ダンスワークショップとピアノマラソンの記事と写真はミルハス公式サイトでも紹介しています。



2024年 10月・11月・12月 / 公演・イベント情報

10/14(月・祝)

●中ホール
平成かぶき組 股旅舞踊
特別公演



13:00開演
【お問い合わせ】
劇団平成かぶき組 TEL:0197-85-3189

10/28(月)

●大ホール
劇団四季ミュージカル
「ジーザス・クライスト＝
スーパースター」(エルサレム・
バージョン) 秋田公演



18:30開演
【お問い合わせ】
劇団四季仙台オフィス
TEL:0570-008-110(ナビダイヤル)

11/17(日)

●大ホール
佐渡裕指揮
シエナ・ウィンド・
オーケストラ演奏会
プラスの祭典2024



14:00開演
【お問い合わせ】
ABS秋田放送企画事業部 TEL:018-826-8500

10/14(月・祝)

●大ホール
それいけ! アンパンマン
ミュージカル
勇気の花に歌おう♪



①11:30開演 ②14:30開演
【お問い合わせ】
それいけ!アンパンマンミュージカル秋田公演事務局
TEL:0800-800-5122

11/2(土)

●大ホール
須川展也
40周年記念コンサート
(山王中学校吹奏楽部
プレコンサート)



14:00開演(プレコンサートは13:30)
【お問い合わせ】
アートオフィスサイチ TEL:018-874-9215

11/23(土・祝)

●小ホールB
羅漢LIVE TOUR
2024



17:00開演
【お問い合わせ】
KIOK JAPAN TEL:03-6434-0755

10/19(土)

●大ホール
SUPER BEAVER
都会のラクダTOUR
2024～セイハッ!
ツーツーウラウラ～



18:00開演 ※チケット完売
【お問い合わせ】
ノースロードミュージック TEL:018-833-7100

11/3(日・祝)

●大ホール
ディズニー・オン・クラシック
～まほうの夜の音楽会
2024～



17:00開演
【お問い合わせ】
秋田テレビ営業推進事業部 TEL:018-866-8030

11/24(日)

●中ホール
岸谷香40th
ANNIVERSARY
LIVE TOUR KAORI
PARADISE 2024



16:00開演
【お問い合わせ】
ノースロードミュージック TEL:018-833-7100

10/27(日)

●中ホール
鴉 25周年記念
ワンマンライブ
～足跡は未だ、足音を鳴らす～



18:30開演
【お問い合わせ】
鴉公式サイトお問い合わせフォーム
<https://karasu.in/contact/>

11/9(土)・10(日)

●大ホール
徳永英明
Hideaki Tokunaga
Concert Tour2024
ALL BEST3



9日/16:00開演 10日/15:00開演
【お問い合わせ】
ノースロードミュージック TEL:018-833-7100

11/30(土)

●中ホール
金管五重奏コラボレーション
～誰もが耳にした
あの旋律と共に～



14:00開演
【お問い合わせ】
「金管五重奏コラボ公演」実行委員会事務局
TEL:090-3645-8833(富橋)

10/27(日)

●大ホール
秋田県芸術
フェスティバル2024



10:30開演
【お問い合わせ】
秋田県芸術文化協会 TEL:018-835-3193

11/11(月)

●大ホール
松竹大歌舞伎



13:00開演
【お問い合わせ】
あきた芸術劇場ミルハス TEL:018-838-5822

12/7(土)

●大ホール
ジョージア国立バレエ
くるみ割り人形



16:00開演
【お問い合わせ】
秋田魁新報社企画事業部 TEL:018-888-1857
光藍社チケットセンター TEL:050-3776-6184

10/27(日)

●小ホールA
Rinto Presents
エモくて沁みる即興
ピアニスト 日吉真澄
コンサート'24 “瞬音”



13:30開演
【お問い合わせ】
ライターニングRinto TEL:090-2797-4542

11/16(土)

●大ホール
私立恵比寿中学秋田分校
FINAL～フィナーレは
いつも笑顔で～



15:00開演 ※10月12日10:00一般発売
【お問い合わせ】
ABS秋田放送企画事業部 TEL:018-826-8500

※掲載しているのは公演・イベントの一部です。情報は9月上旬時点のもので、「チケット完売」の記載がない公演でも完売している場合があります。ご了承ください。公演・イベントの詳細はミルハス公式サイトをご覧ください。



▲詳細はこちら

Mille Has information

12月27日、「大いなる秋田」合唱

「あきた吹奏楽の日」
障害者支援サービスも

「あきた吹奏楽の日～大いなる秋田定期公演～」が12月27日、あきた芸術劇場ミルハス大ホールで開かれる。県内の高校生選抜バンドと、一般公募などで集める合唱団が「合唱とプラスのための楽曲 大いなる秋田」を披露する。ミルハスと秋田県吹奏楽連盟、秋田県合唱連盟の主催。

今年1月に続く2回目の開催。「大いなる秋田」だけでなく、県内の中学生選抜バンドや吹奏楽指導者でつくるディレクターズバンドが多彩な楽曲を演奏する。ユーフォニウム奏者の荒木玉緒さんもゲスト出演する予定。

また、目や耳が不自由な方にも快適に公演を楽しんでもらうため、支援サービスを充実させる。難聴者向けに赤外線補聴システムを導入したり、目が不自由な人向けに公演内容の事前説明をしたりする予定。

合唱団の一般公募は、詳細が決まり次第ミルハスの公式サイトなどで受け付ける予定。



1月に開催した「あきた吹奏楽の日」では、約330人の合唱団が大いなる秋田を歌った

公演概要

- ◆日 時：12月27日(金) 13:30開場／14:00開演
- ◆会 場：あきた芸術劇場ミルハス 大ホール
- ◆チケット：一般 1,000円、学生 500円、小学生以下無料(全席自由)
- ◆主 催：あきた芸術劇場ミルハス、秋田県吹奏楽連盟、秋田県合唱連盟



7月にテレビでピアニストの小山実稚恵さんをお見受けした。上皇ご夫妻の卒寿を祝う音楽会のニュースだった。小山さんをはじめ、ご夫妻と交流のある演奏家たちの姿があった▼ニュースで耳にした演奏はほんの断片だったが、耳の奥で小山さんのピ

アノが鳴った気がした▼昨年12月、小山さんはあきた芸術劇場ミルハスの大ホールでリサイタルを開いている。残念ながら筆者はその本番を聴いていない。耳に残る音色は、公演前日に業務上たまたま聴いたものだ。筆者が大ホールの舞台裏へ向かったとき、小山さんは本番でどのピアノを使うか決めようとステージで弾き比べをしていた▼舞台裏に通じるドアを開けると予期せぬピアノの音。それは舞台そでへ進むと大きく、明瞭になった。どういう具合か、音響反射板の外にあふれ出てくる音は、まるで天から降り注ぐように聞こえた。心揺さぶる音楽は、空間を意味から変えてしまう。舞台そでは別世界になった▼その音色は翌

日、一層深く記憶に刻まれることになる。公演は夜。小山さんは開場まで、観客のいないホールでピアノを弾き続けていた。ミルハスのスタッフ区画にはホールの状況を確認できるモニターがある。無音のモニターを見上げるたび、ピアノと向き合う小山さんの姿が見え、脳裏には前日聴いた音色が再生されるのだった▼調律師が教えてくれたことがある。公演前のピアニストがホールのピアノをしばらく弾き込んで「ようやくピアノが鳴り出した」と口にする。よくあることだそう。小山さんは長い時間をかけてピアノとの関係を深め、本番の音色を紡いだ。どんなにきらびやかだっただろう。想像するだけでときめく。



あきた芸術劇場
Akita Arts theatre
ミルハス

Mille Has

<発行>あきた芸術劇場ミルハス
〒010-0875 秋田市千秋明徳町2番52号
TEL.018-838-5822 FAX.018-838-5825
E-mail/info@akiat.jp https://akiat.jp

